

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	中毒情報センター情報基盤整備費	事業開始年度	昭和61年度	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室	室長 中山 鋼		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	救急医療対策事業実施要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	化学物質等による急性中毒の治療方法等に関する情報を迅速に提供するための基盤整備を行うことで、急性中毒対策の充実を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	財団法人日本中毒情報センターが行う以下の事業に必要な経費(情報システム運用経費等)について、財政支援を行う。 (1)化学物質等によって起こる急性中毒に関する情報の収集及び提供 (2)(1)により収集した情報の整理集積 (3)急性中毒に関する情報提供に必要な基礎資料の作成 (4)24時間体制で医師の適切な指示が受けられる体制の確保					
実施状況	中毒情報データベースを構築し、ホームページを通じて中毒情報の提供を行うとともに、中毒110番電話サービスにおいて急性中毒の相談支援を実施している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	19	18	18	15	15
	執行額	19	18	18		
	執行率	100.00%	100.00%	100.00%		
	総事業費(執行ベース)	19	18	18		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について、支出先、用途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検討は行われている。				
	見直しの余地	システム運用経費について、平成21年度に見直しを行い、データ入力経費の一部を縮減するなど効率化に努めているところである。				
予算監視の所見 効率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
18百万円

- (1) 化学物質等によって起こる急性中毒に関する次のような情報の収集及び提供
- (2) (1)により収集した情報の整理集積
- (3) 急性中毒に関する情報提供に必要な基礎資料の作成
- (4) 24時間体制で医師の適切な指示が受けられる体制を確保する。
上記事業を行う財団法人中毒情報センターに対し支援する。

【補助】

A. (財)中毒情報センター
18百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)中毒情報センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	中毒情報センター情報基盤整備事業の運営に係る人件費	12			
賃借料	パソコン接続使用料等	3			
報償費	専門医にかかる謝金	2			
旅費	学会等出席旅費	1			
計		18	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0